

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

(令和7年6月6日 午前10時50分)

●議長(酒井 聡) 休憩前に引き続き会議を開きます。

通告の2、岡本かおり議員。

- 1、一茶200回忌関連について
- 2、公民館活動と冷房設備について
- 3、文化施設3館について
- 4、役場の冷房設備について

議席番号1番、岡本かおり議員。

◆1番(岡本かおり) 発言を許されました議席番号1番、岡本かおりです。通告に従いまして4点にわたって一般質問いたします。最初に、一茶200回忌関連について質問いたします。一茶の俳句をそらで言えなくとも、多くの日本人はこの名前を聞いたら俳句の人ということを知っています。俳句を聞けば幾つかは聞いたことがあると答える人は多いと思います。しかしこの信濃町で生まれて、そして亡くなったということを知っている人はそんなに多くないと思います。実際に私も、信濃町に移住するまでは、どこで生まれて亡くなったなど知りませんでした。もしかしたら学校で習っていたかもしれませんが、記憶にありませんでした。とはいえ、ここ信濃町では長い間、町の人々に一茶は愛されて資料もたくさん保存されており、石碑もたくさん存在しています。ただ、現在の課題としては、一茶に関する町民団体の会員の減少、高齢化に直面して解散が相次いでいるとのことが後期基本計画の61ページに示されています。このままでは地域の歴史の継承などが困難になってきているとのことですが、これらの課題について町長はどのようなお考えなのかお聞きします。

●議長(酒井 聡) 鈴木町長。

■町長(鈴木文雄) ただいま頂きました岡本議員からのお尋ねに回答、答弁いたします。小林一茶に関しましては、小学校の頃から著名であり、かつ身近な俳人として認識しておりましたけれども、恒例行事であります5月の一茶まつり、同時開催の全国小中学生俳句大会、11月の一茶忌などの機会を通じまして、その存在の大きさを改めて感じているところでございます。江戸時代を生きた一人の男の、波乱に満ちた人生2万句にも及ぶ俳句が、今を生きる人々の心にしっかりと届いていること、また一茶がこの信濃町に生まれ亡くなったという事実を改めて確認いたしまして、何とも誇らしく、また、有り難く思っているところでございます。そして、一茶の俳句を愛し、顕彰することに意義を感じている方々が、日本はもとより、広く海外にも大勢おられる限り、信濃町が一茶のふるさととして様々な活動に取り組んでいかなければならないというふうに考えてい

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

るところでございます。その一方で、一茶に関わる町内の団体につきましては、構成する会員の皆さんの高齢化や減少が進んでおりまして、一茶に関する活動やサポート体制が弱体化しているとの指摘も伺っております。このような状況も踏まえまして、一茶の顕彰を将来にわたって継続し、更に発展させていくために現時点において何をなすべきか具体的な対策の検討を急ぎたいと考えております。また一茶顕彰や俳句文化の継承に係る活動は単に町内にとどまるものではないことを念頭に、昨年立ち上げました信濃町ファンクラブを中心といたしましたネットワークの拡大につなげ、関係者相互の交流や理解を深めていくことができればと期待しているところでございます。以上です。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

◆1番(岡本かおり) 今、町長のお考えを伺ったので、一茶に関わる人が減ることの心配や一茶に対するお気持ちは私たち町民と同じと解釈させていただきます。その上で、来年の令和8年11月19日に、一茶の200回忌を迎えます。この日を迎えるに当たり、町では一茶200回忌事業を実施することが後期基本計画に示されております。これは信濃町をPRするひとつの起爆剤になると思います。この事業内容に、体験、交流イベント、俳句ツーリズム(仮称)を実施するということですが、これは恐らく関係団体の協力なくしてはできないと思いますが、現在では会員の減少などで解散が相次いでいるという中で、どういう形で対応する計画でしょうか。11月19日だけのイベントとなると大変な混雑が見込まれます。先日の一茶記念館主催の講座では、駐車場が満車になっていたように思います。半日の講座で満車になってしまうのですから、一茶200回忌事業となると、一茶まつりのときのように近隣の駐車場を借りてもすぐに満車になってしまうかと思えます。できることなら1日だけとかではなく、数日数回にわたってのイベントにすれば人の集中が分散されて、事故などや混雑のため見学がしにくいなど回避されると思いますが、どう思われますか。現時点で決まっている日程をお尋ねします。

●議長(酒井 聡) 北村教育長。

■教育長(北村康彦) 来年やってきます小林一茶200回忌事業を開催する日程についてのお尋ねかなと思います。例年一茶忌全国俳句大会を行っております11月19日に200回忌を開催しようとする場合、幾つか課題があるというふうに思っております。1つ目は、毎年11月19日に開催される全国俳句大会は、全国から俳句愛好家が集い、俳句作りを楽しむ専門性の高いイベントとして開催している面がありますので、200回忌事業はもっと広く、特に町民の皆様に向けて、誰もが楽しめるようなイベントとして11月19日の全国俳句大会とは別日に実施した方が良いのではないかと考えております。2つ目は、11月19日は非常に寒い時期で、昨年も雪の中の開催となっておりますことから、多くの皆さんにおいでいただくには向いていないのではないかとことです。それから3点目ですけれども、今、議員指摘の駐車場の検討も含めて、会場として一茶記念館が狭いのではないかとということも考えています。そのため、全国俳句大会は

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

例年通り11月19日に実施して、それとは別に200回忌のメインイベントを開催することを検討してまいりたいと思っております。開催日につきましては、現状では具体的にまだ決まっておりませんが、他のイベントとの兼ね合いから、春から初夏頃、あるいは10月頃に実施するというようなプランを考えております。それと初めにご質問にありました俳句ツーリズムにつきましては、まだ構想段階ですが、少人数のグループごとに町内の一茶関係遺跡や各種体験施設などを吟行、観光しながら目にしたものを、あるいは体験したものを俳句にしていく、その吟行をしながら巡っていただき、俳句を読むことを通して、一茶のふるさと、この信濃町のファンになっていただこうというものです。旅行業者や地元の宿泊施設の皆さんにもご協力いただきながら楽しい、そういうものになるよう構想していきたいと思っております。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） 今、いろいろイベントが1日だけではなく他の日にちも考えているということを知りました。それで、そのイベントについてなんですけれども、イベントの準備会みたいのは考えておりますでしょうか、お尋ねします。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） 準備会の予定についてのお尋ねかと思いますが、メインのイベント、先ほど11月19日とは別にといった、それについて一茶200回忌事業実行委員会を立ち上げてまいりたいと思っております。イベントの内容としては、様々なことを関係者で検討していきたいと思っております。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） イベントの内容はまだこれから検討中ということで承りました。できればイベントをするのでしたらテレビなどで有名な方など講師にと思ったりもしましたが、あまりにも有名な方だと会場の広さとか限界があると思いますので、できれば長野県内の俳句の先生などを呼んでいろいろお話をしていただいたりとか、あと、過去の一茶の映画、一茶関係の映画なども考えていただけるといいかなと思っております。それで200回忌の実行委員会はあるとおっしゃったのですけれども、こちらの始動、開始時期はいつなのか決まっていたら教えてください。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） まず、今、お話のあった内容についてですけれども、議員おっしゃるように、是非著名で一茶200回忌にふさわしいお話をしていただける方を記念講演会でお呼びしたいと思っております。それから現時点ですけれども、町民の皆さんのアイ

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

デアによる企画だとか、小林一茶について学んだ子どもたち、興味関心を持って学んだ子どもたちが、学習成果を様々な形で発表を表現するようなことができれば、来年の200回忌がゴールではなくて、そこをスタートとした一茶顕彰につながると思いますので、いろいろなアイデアをまた議員さん方からもお寄せいただければと思っています。それから開始時期のお尋ねですね。これについてですけれども、現時点でははっきりまだ申し上げられませんが、なるべく早期に立ち上げて準備を進めてまいりたいと思っていますのでございます。以上です。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

◆1番(岡本かおり) できれば早期に200回忌実行委員会を行うというご説明でしたので、できれば早め早めに対応していただけるといいと思います。それで実行委員会のメンバーなのですけれども、こちらのメンバーはどのような方が参加できるのでしょうか教えてください。

●議長(酒井 聡) 北村教育長。

■教育長(北村康彦) 準備会の参加者についてお尋ねでございます。実行委員会ということをお考えしておりますけれども、この実行委員会には小林一茶200回忌事業に関する団体等の代表者を中心に、町内だけではなくて町外も含めてイベントの実施に向け、企画準備、運営において実務的にご協力いただける方々に参加していただく方法で考えてございます。以上です。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

◆1番(岡本かおり) 今のお答えで、代表者の関係者の代表者だけではなく、町内の他の方も参加していただけるということで、できればそれに加えて町外の方や一茶のファンクラブ、信濃町ファンクラブの方とかにもお声をかけて参加していただければまた盛り上がると思いますのでよろしくお願ひします。そして準備会はイベントの準備に特化するものと解釈しますので、そのほかに以前あったとお聞きしているボランティアガイドというものを復活することは可能でしょうか。あるいは新しく養成するような講座を今年度中から作っていただきたいと思いますが、今年度から始めれば新規の方でも来年の200回忌事業には間に合うと思いますがいかがでしょうか。

●議長(酒井 聡) 北村教育長。

■教育長(北村康彦) ボランティアガイドについてのお尋ねかと思ひます。まず、これまでの経過を申し上げます。平成15年に現在の小林一茶記念館ですね、その記念館オープンに合わせて、民間の方たち独自の活動として一茶のふるさと案内人会が結成されま

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

した。当初は30人ほどの会員が土日祝日やゴールデンウィーク、お盆休み、俳句大会の日など一茶旧宅と小丸山公園の2か所に分かれて当番制で観光客のガイドを行っておったそうです。一茶記念館ではガイド研修など活動のサポートを行ってまいりましたが、会の中核メンバーが体調を崩されたり、お亡くなりになられたりということが続き、会員数も減少しまして徐々に活動が難しくなり、最終的にはコロナ禍による活動休止の影響もあって、令和4年度をもって解散となってしまいました。議員お尋ねのボランティアガイドの復活についてですが、これまでの経過や現状を鑑みたとき、行政が主導して人を集め活動をしてもらうというような形では、ボランティアという性質からガイドの復活や持続が非常に難しいものと考えております。今後は町民の方、あるいは関係人口の皆さんにそうした動機の部分を醸成できるような事業を行い、再結成の動きが出てくるように努力を重ねたいと考えております。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） これから、一度なくなったボランティアの方々をもう一度考えていただいて、形成していただけるという話を聞きましたので、少し安心しました。更にその準備に伴うボランティアガイドもそうなのですけれども、現在一茶記念館では日本語を含めた他言語の石碑の地図やパンフレットがないと伺っております。先日の一茶記念館の講座で、フランス人の講師の方から、フランスでは一茶についての翻訳本が多数あり、一茶のファンもいることを伺いました。多分ファンの方でしたら一茶忌の日に合わせてという方も多いと思いますが、海外の方だと都合をつけるのも大変だろうから一茶忌には無理だけれども、一度は生まれ故郷を見てみたいと思っている海外の方もいると思います。もちろんファンでなくても、現在は海外の方の観光客もいらしています。そこで質問ですが、多言語パンフレットなどの印刷の予定はありますか。もしそういったものがあればボランティアの方とかも臆することなく、他の言語の方にも対応できると思いますがいかがでしょうか。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） 多言語のパンフレットについてでございますが、これまで英語パンフレットが1種類あっただけでしたが、今年度当初予算でQRコードを読み込む形の自動翻訳、5か国語対応の音声ガイドの導入予算を認めていただいております。現在実装に向けて準備中でございます。こちらはQRコードさえ設置しておけば、お客さんの個人のスマートフォンで読み込んで簡単に解説を聞くことができるシンプルなシステムですので、一茶記念館の展示室だけでなく、一茶の旧宅だとか一茶の面影堂、あるいは一茶のお墓などでも対応できるというふうに、可能性は広がるということを考えてございます。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

◆1番(岡本かおり) 今QRコードの話伺いましてそれはとても便利だと思いますし、ナウマンゾウ博物館でも同じようなものを拝見しておりますので、多分似たようなものだと思いますので。あれはいろんな海外の方が利用しているのを拝見しましたので良いことだと思います。早期にそれが実行できることを願っております。それでパンフレットはないのですが、旧宅とかの前にもQRコードを置いていただくという話でしたので、多分観光客の方々は句碑巡りみたいな形でいろいろ回るとと思いますので、そのQRコードが句碑のところにも設置するような広がりもあると助かります。そして観光客の方は、句碑巡りをしながら一茶旧宅の方にも歩かれると思います。現在、一茶旧宅の周りの庭の整備などの状況を教えてください。

●議長(酒井 聡) 北村教育長。

■教育長(北村康彦) 一茶旧宅周りの整備についてのお尋ねでございます。一茶旧宅周辺につきましては現在、一茶保存会に委託する形で定期的に草刈り、剪定等の環境整備を行っていただいております。ただ、草の繁茂のスピードが速く、時期によっては草刈りが追いつかない場合があります。200回忌に向けて観光客の皆さんに気持ちよくご見学いただけるように、今年度もより一層環境整備に努めてまいりたいと思います。以上です。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

◆1番(岡本かおり) 整備に関しては、実施されており200回忌の時期にはより一層丁寧にやっただけという話なので、そちらも安心いたしました。が、きれいになっている庭のそばに一茶の子孫の住宅があり、現在売りに出されていると聞きましたが、町はどういう対応をしているのでしょうかお尋ねします。

●議長(酒井 聡) 北村教育長。

■教育長(北村康彦) 一茶旧宅に隣接する販売物件に対する町の対応についてのお尋ねかと思いますが、一茶旧宅に隣接する土地建物の取得については、地域の皆さんはじめ様々な方々のご意見を伺いながら昨年春以来検討を重ねてきたところでございます。そのうち、一茶旧宅の隣にある一茶位牌堂につきましては、町の文化財として昨年指定をさせていただきました。その指定を行った上で、その建物及びその背後にあります土地も含めて町で取得する方向で本議会に補正予算として上程をさせていただきました。昨日お認めいただきましたので土地建物も取得させていただき、その後、次の段階として一茶旧宅を含めて一体的に整備を進めていきたいと考えております。以上です。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

◆1番(岡本かおり) 今のご説明だと販売物件の家は購入していないのですよね。はい、わかりました。将来的に町が、その物件を買う予定になっているのでしょうかお尋ねします。

●議長(酒井 聡) 鈴木町長。

■町長(鈴木文雄) はい、位牌堂の隣の小林一茶のご子孫の方々の住宅についてでありますけれども、先ほど教育長の方から説明させていただきましたとおり、位牌堂につきましては、町の文化財に指定した上で取得するというようにしておりますけれども、住宅に関しましては地権者の方、そしてまたこれまで一茶顕彰に関わってこられた方々、そして地元柏原区の皆さん方のご意見をいろいろお聞きする中で、判断に非常に苦しんだところではございますけれども、最終的には取得に係る財源の確保、それから将来的な利用の在り方に課題があるのではないかとということで、今回は取得という判断には至らなかったということでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。以上です。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

◆1番(岡本かおり) この販売物件は町が購入はまだ、購入予定とかではないということをご頂戴しました。しかし、この住宅を購入した場合、町は大変な負担を得ると思います。しかし場所柄、全く一茶と関係ない方が購入してしまって、一茶のイメージと異なるものを建ててしまったりしたりしたら、長い間、旧宅や位牌堂、土蔵などを守ってこられてきた町民の方々の思いや、そして文化の継承が壊れてしまうと思われまます。もし可能でしたら、町でしっかり管理をして移住者体験住宅などにしたりとか、イベント用の貸しスペースにしたりと、いろいろな案を町民の方々に伺って町として残していけたらよいかと思います。後期基本計画の13ページに、「みんなでつくるふるさとしなのまち」の将来像を掲げていて、一茶の出身の町であると自慢できるふるさとを残していきたいと思っておりますが、再度、町長にお伺いします。貴重な一茶の住宅、土蔵、位牌堂などの保存に関してどのようなお考えかお伺いします。

●議長(酒井 聡) 鈴木町長。

■町長(鈴木文雄) 先ほど申し上げたことと重複するところもあろうと思っておりますけれども、まずですね、一茶の土蔵及び弟屋敷というのがございます。そしてまたその周辺は、園地として公園的な整備もされているところではありますが、今回、位牌堂も取得させていただく中で、施設一帯を改めて整備して訪れる皆さん方に時間を楽しんでいただけるような形にしたいということであります。ただし、住宅部分につきましては、これは私もいろいろ、本当に様々なご意見をお聞きする中で判断させていただいたところがございますので、現時点では町で取得することは考えていない、ということでご理解を

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

お願いしたいと思っております。ただ、一茶の旧宅、それから弟屋敷、位牌堂を含めた周辺一帯を改めて整備させていただくということについては積極的に取り組んでまいりたいということですので、よろしくお願いたします。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） 今の町長の答えて、一茶の町信濃町、観光客には随所に一茶の句碑があつて、一茶のゆかりのものが大切に保存されている町、文化を大切にする町という印象が残り、また行ってみたい町と思ってもらえるような町づくりをし、そして町民の方には一茶の町信濃町ということ誇りに持ち、愛着を持てる町づくりをしていくという意見を伺いましたので、了解しました。ありがとうございます。続きまして次の質問に入ります。公民館活動について伺います。現在公民館は、総合会館、地域交流施設、野尻湖支館、富士里支館などがありますが、これらの利用状況は高齢化などで活動を休止する団体が増え、新規の立ち上げも減っているのが後期基本計画の64ページに課題として取り上げております。そして町としての目標は利用件数や講座などを増やす目標にしていると後期基本計画の65ページに記載されていますが、具体的にはどのような講座を計画しているのか質問いたします。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） どのような講座を計画しているかということですが、本年度ですけれども、まずは明日ですね、6月7日に信濃町人権フォーラムを開催しまして、闇バイトの実態と対策と題して長野中央警察署の方にご講演いただくほか、6月21日には生涯学習フェスティバルが開催され町内在住のプロスノーボーダー、小西隆文さんに子どもの居場所づくりをテーマに講演していただく予定です。是非議員の皆様にもご参加いただければと思います。そのほか主な公民館事業ですけれども、夏に古間地区でわんぱく夏祭り、野尻地区で魚のつかみ取り、秋には富士里地区でのきのご展、11月には総合会館での合同文化展等、多くの事業を計画しております。本年度の開催予定講座数は32件となっております、令和5年度よりプラス5件の増加となっております。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） 5件も増えた。事業を増やしていただいて、とてもうれしく思います。しかし、魅力的な講座などは必要だと思いますけれども、公民館には冷房設備がほとんどないと伺っております。公民館の冷房設備の現状をお尋ねします。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

■教育長（北村康彦） 冷房の現状でございますが、総合会館と野尻湖支館については冷房の設備はございません。それから、古間の地域交流施設については、1階大会議室と2階大会議室に冷房設備を設置済みでございます。それから、富士里支館につきましては、1階小会議室のみ冷房設備を設置しているところでございます。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） 全部のところではないわけではないということを伺いました。近年温暖化が進み、信濃町でも昼間はかなり暑いという状況で、現状信濃町では、熱中症で亡くなった方の人数は計られていないのでわからないということですが、いつどうなるかわかりません。電気代などの値上がりで、関東などではエアコンをつけずに熱中症で亡くなったというニュースを見たことがあります。信濃町でも、電気代を気にして熱中症になってしまう人が増えるかもしれません。公民館にエアコンを設置することによって、公民館活動だけじゃなく、ただ単に涼みに来るといっただけでも利用が増えることは良いことではありませんか。設置予定があればお尋ねします。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） 今後の設置予定についてのお尋ねでございますが、長期振興計画に記載のとおり、令和11年度までに総合会館の1つの部屋に設置することを目標にしています。町民の皆様の要望を伺いながら、町の財政状況を踏まえて検討を進めてまいります。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） 暑熱避難施設、クーリングシェルターという施設はご存じだと思いますが、この施設、公民館施設をそういう施設にしようという計画はありますでしょうか。ここ数年、物価の高騰なので、一人暮らしだと電気代節約でエアコンをつけないという方も増えると思います。そうすると、熱中症になって具合が悪くなってしまうかもしれません。エアコンが公民館に設置されていれば、暑い日は高齢者から学生まで涼みに来てくれるかもしれません。そしておしゃべりをしたり、勉強をする場所として町民の方々に利用してもらえんと思います。何より公民館は避難場所にもなっているので、夏の災害の避難時において大勢の人が集まる状況では冷房設備が必需だと思います。公民館に冷房設備を設置して公民館を指定暑熱避難施設にするという計画はおありでしょうか。お尋ねします。

●議長（酒井 聡） 柄澤総務課長。

■総務課長（柄澤 豊） 町の公有施設の計画になりますので、私の方からお答えをさせ

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

ていただきたいと思います。現在のところ当町においては公民館を含む町の施設を指定暑熱避難所、いわゆるクーリングシェルターとして指定する計画はございません。近隣自治体では須坂市、中野市が指定しており、長野市のホームページを確認したところ、生涯学習センターは、7年度は空調設備の改修工事のため休止というふうになっていますが、今年度5月1日から駅前プラザですとか、あと、民間になります。セブンイレブン各店舗、デリシア各店舗など協力いただける民間事業者を募集し、指定したようでございます。当町の公有施設で冷房設備を設置している施設は一部に限られていますので、クーリングシェルターの指定には至っておりませんが、冷房設備が設けられている一部のお部屋ですとか、公民館については、貸館の状況により活用していただくことが可能というふうを考えているところでございます。近年の地球環境の変化により夏の気温上昇が顕著となってきておりまして、各家庭でのエアコンの普及も徐々に進んできているように思いますが、議員がおっしゃるように特に高齢者世帯等また要援護者等への普及や熱中症対策については課題だと認識をしているところでございます。

●議長(酒井 聡) 岡本議員。

◆1番(岡本かおり) 残念ながら、公民館が指定暑熱避難施設になる予定がないということですが、学校へのエアコン設置が決まり、保育園ではスポットクーラーの設置が決まっているとのことですので、引き続き公民館などへの設置を検討していただくことを要請します。改めて読ませていただきますが、教育大綱の基本理念は、誰もが生き生きと学ぶ生涯学習を推進し、この町の豊かさやすばらしさを次の世代に伝えるとともに、文化の薫り高い町づくりを目指しますと書かれております。この基本理念を実現するためにも、快適な生涯学習環境整備を強く要望します。さらに、後期基本計画の64ページには、公民館活動や生涯学習は、地域コミュニティの維持や地域課題解決につなぐ重要な取り組みであることから、人口減少、高齢社会においても持続できる体制や仕組みを構築することが求められていることを課題にしています。しかし、現在デマンドタクシーなどは、休日などは運休しているため、公民館へ行けないという声を聞いたことがあります。この点についてはどうのお考えでしょうか。後期基本計画の77ページが、PDCAサイクルを展開することで運行を改善していきますと書かれていますが、具体的な計画予定があるならばそれをご提示ください。まだ計画はできていないのならば今後の改善策をお答えください。

●議長(酒井 聡) 北村教育長。どうですか。では渡辺教育次長。

■教育次長(渡辺美重子) それではお答えいたします。公民館活動への参加方法についてですが、正確には把握しておりませんが、徒歩であったり、自ら車を運転したり、家族や知人に乗せてもらってといった手段がほとんどだと思います。過去に町で送迎について手配した例がありますので申し上げますと、令和2年度の4館合同の文化展開催の際、町で臨時バスを運行しました。そのときの乗客は1名のみとお聞きしてお

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

ります。また令和3年度4年度につきましては送迎のご案内を事前にお出ししましたが、利用希望者がいなかったため、臨時バスの運行を中止したという計画がございます。これらのことを踏まえまして、今のところ町としましては公民館活動を企画する際、送迎の手配を行うということは予定しておりません。議員ご紹介の案件につきまして、どのような講座に参加希望の方が送迎を希望されていたのか、今後の公民館活動の参考とさせていただきますので、また後ほど詳細をお聞かせいただければと思います。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） ではその件については後日説明させていただきます。では、次に3館無料券と町民パスポートについて伺います。毎年4月には、配布されていた3館無料券が今年は配布がありませんでした。そして、4月の広報に記載されていた町民パスポート販売について、4月上旬から販売されていなかったということですが、なぜ遅れたのでしょうか伺います。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） 町民無料券と町民パスポートの発行が遅れたことについてのお尋ねでございます。3館の町民無料入館券につきましては、例年のように4月広報と一緒にお届けできなかったこと、まずもって大変申し訳なかったと思います。お詫び申し上げます。4月中のそれに対する対応としましては、5月の広報が届くまでの間、防災無線でのご案内のほか、問い合わせを頂きましたり、直接ご来館いただいた町民の方々には、各館受付で無料券を持参したという対応をさせていただきました。例年町民無料券の折り込みにつきましては、3館の職員同士で声を掛け合い準備してきたところですが、今年はその連携がうまくいかなかったということです。今後は担当者を明確にし、発行に遅れが生じないよう徹底したところがございます。また、町民パスポートが4月上旬に発行できなかったことについてですが3館に確認したところ、カードの印刷が間に合っていない館がありまして、即日発行ができずに少しお待ちいただいた方が3名いたということでございます。いずれにしても、3月中にパスポートの準備ができていなかったという点で改めてお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。来年度は3月当初からお客様をお迎えする準備を万全とするよう指示したところがございます。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） 今回、3館の連携がうまくいかなかったということで了解いたしました。それは、具体的にどういう感じだったかっていう話の手応えと言うか、どういうふうな感じだったかっていうのを聞いていますか。具体的に誰かが忘れたのかなのか、それともふだんだったら誰かが話し始めるから話し合いをするとか、そういう具体的な

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録（2日目）

事例というのは聞いておりますでしょうか。

●議長（酒井 聡） 北村教育長。

■教育長（北村康彦） 毎年3館でお互いに声を掛け合いながら、やらなきゃいけない時期だね、ということで進めていたようです。ただ今年については、そののところ、私どもも失念していたのですけれども、担当の方でそのところがうまく連携が取れなかったもので、結果的にこういうことになってしまった。ですので、3館で連携を取るということではなくて、きちんと担当を決めて来年は対応してまいりたいと思っているところでございます。以上です。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） はい。では、来年度からはそういう、うっかりが、ないように町民の方にご迷惑がかからないようによろしく願いいたします。では最後に役場の冷房設備について伺います。もう既に読まれたと思いますが信濃毎日新聞の4月16日には職場の熱中症対策が義務になったと書かれておりました。そして5月31日の新聞には職場の熱中症死傷者が昨年は最大になったと書かれておりました。現在信濃町役場では冷房設備は扇風機だけと伺っております。これで熱中症対策ができていくということになりますでしょうか。町長のお考えを伺います。

●議長（酒井 聡） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） 役場庁舎の冷房設備についてのお尋ねということでございます。役場庁舎の暑さ対策につきましては、不十分な現状を十分に承知しております。また冬期間の暖房に関しましても、設備が老朽化しております、こちらの方もこのまま放置することはできないというふうに考えております。このため、庁舎全体の冷暖房、空調設備の整備について抜本的な検討を進めてまいりたいというふうに考えております。これに関しましては、庁舎の中央部の吹き抜け構造が断熱性能に大きく関わっており、まして、整備に要する経費も多額になるものと見込まれております。財源の確保についても併せて検討を進めてまいりたいと思います。

●議長（酒井 聡） 岡本議員。

◆1番（岡本かおり） これから検討していただけるということをお願いしたので、少し安心いたしました。役場にエアコンが設置されて涼しくなるので熱中症予防にもなりますし、仕事の効率が上がると思います。そして町民の方が用事を済ませた後少しホッとできる場所になれば、それも指定暑熱避難施設に近いものになると思います。さらには涼みに来たついでに議会を傍聴してもらえようになれば、町のことを知ってもらうには

令和7年第424回信濃町議会定例会6月会議 会議録(2日目)

良いきっかけになると思いますので、この件も早急に対応していただけることを強く要望いたします。以上を持ちまして私の一般質問を終わります。

- 議長(酒井 聡) 以上で、岡本かおり議員の一般質問を終わります。この際申し上げます。昼食のため、午後1時まで休憩といたします。

(終了 午前11時36分)